クモイコゴメグサ

被子植物・ゴマノハグサ科
Euphrasia multifolia var. *kirisimana*

絶滅（EX）

旧レッドリストカテゴリー	
2000：**ー**	2007：**EX**

形態と生育環境
ツクシコゴメグサ(EN)の変種。葉の鋸歯が尖り、霧島山固有変種。

現地調査の集計結果〈2007 年調査〉

「現存する株数」別のメッシュ数								
<10	<50	<百	<千	<万	>万	合計	絶滅	その他
0	0	0	0	0	0	0	1	0

危険性の主要因上位３項目の件数					
シカ食害			不明	無記入	全数
1			0	0	1

生育地の現状と判定理由〈判定基準：–〉
2007年調査では自生地（中岳・甑岳）のミヤマキリシマの下層植生はシカによる摂食で壊滅状態であった。1995年以降探索されているが本種は再確認されず、絶滅と判断された。

都道府県別生育情報（○：生育、×：絶滅）

都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
現況																																													×	×	

トヨシマアザミ

被子植物・キク科
Cirsium toyoshimae

絶滅（EX）

旧レッドリストカテゴリー	
2000：**EX**	2007：**EX**

形態と生育環境
オガサワラアザミ(NT)に比べ、全体が小さい。茎は細く、葉はゴワゴワせず軟らかい。棘葉も鋭くなく、摘んでも痛くない。花色は薄い紫色。小笠原諸島固有種。

現地調査の集計結果〈2007 年調査〉

「現存する株数」別のメッシュ数〈３次〉								
<10	<50	<百	<千	<万	>万	合計	絶滅	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	0

危険性の主要因上位３項目の件数					
			不明	無記入	全数
			0	0	0

生育地の現状と判定理由〈判定基準：–〉
1936年採集の標本があるが（小笠原植物図譜）、再発見されていない。

都道府県別生育情報（○：生育、×：絶滅）

都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
現況													×																																		

ヒメソクシンラン

被子植物・ユリ科
Aletris makiyataroi

絶滅（EX）

旧レッドリストカテゴリー	
2000：**CR**	2007：**EX**

形態と生育環境
山麓の流れの縁に生える多年草。根出葉はふつう3個（まれに4個）、線形、黄緑色で、長さ5–15cm。花茎は高さ10–28cm、1–2個の小型の葉がある。5月、穂状花序が出て3–14花がまばらにつく。花被は6個で、白黄緑色。

現地調査の集計結果〈2007 年調査〉

「現存する株数」別のメッシュ数								
<10	<50	<百	<千	<万	>万	合計	絶滅	その他
0	0	0	0	0	0	0	0	1

危険性の主要因上位３項目の件数					
自然遷移			不明	無記入	全数
1			0	0	1

生育地の現状と判定理由〈判定基準：–〉
1979年に自生が記録されたが、それ以後1980年代に自然遷移が原因で消滅した。自生地はそのまま残されており、毎年確認が行われているが再発見されておらず、絶滅したと思われる。

都道府県別生育情報（○：生育、×：絶滅）

都道府県	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄
現況																																					×										